



あけましておめでとうございます。今年も学校間連携会議をよろしく願  
いいたします。

まもなく3学期を迎えますが、インフルエンザ等には十分注意して下さ  
い。

さて、今回のふらぬいでは、12月に行われた学校間連携会議の内容につ  
いてお知らせいたします。

## 教育委員会からのお願い

- ① 学校配当予算での各種物品の購入については、市内業者からの購入をお願いいたします。
- ② 教職員住宅にお住まいの方は、冬期間の水道の凍結に注意してください。
- ③ 黒板の水拭きは、寿命を著しく短くするため厳禁です。

### 子どもの貧困とは

世帯収入から子どもを含めて一人ひとりの所得を試算し、その国でまん中の人の所得の半分に届かない人の状況を「相対的貧困」と言います。

「相対的貧困」状態にある子どもの数は2012年調査で16.3%（厚労省資料）となっており、6人に1人が「相対的貧困」状態です。

子どもの貧困が、教育格差→将来の経済格差につながっているといわれています。

## 保護者負担の軽減に向けて

財政部会では、管内の教育予算の比較をもとにした予算確保の取組や保護者負担の軽減に向けた取組をおこなっています。

今回の会議において、子どもの貧困問題を踏まえ、保護者負担の軽減を学校全体ですすめるための5つの実践を提言しました。

- ① 画用紙・半紙・上質紙・原稿用紙などの用紙類の公費での購入
- ② 彫刻刀、裁縫セット類、運動会・体育大会のハチマキなど数回しか使用しない物の公費での購入
- ③ 各学年、教科、生徒会、部活動などで使用するフラットファイルなど私費で購入している物の公費での購入
- ④ 新入学用品、副教材、学級・学年費などの見直しや（公費による）学年予算の増額など
- ⑤ 生徒会費、進路指導費などの見直しや公費化

今後行われる新年度計画会議等において、実践に向けた論議をお願いいたします。

## 予算の執行調整を行っています

連携会議では、富良野市の教育予算の効果的な執行を行うため、余裕のある配当予算を学校間で融通する執行調整をおこなっています。

これにより、突発的なとりくみへの対応が可能になったり、予算が少し足りなくて購入できなかった教材備品が購入出来たりと、子どもたちの教育環境整備に大きく寄与しています。

限りある教育予算をより効果的に執行していくために、職員全員の協力が必要です。無駄のない予算の活用をお願いいたします。